天龍小学校だより

山なみはるか

令和３年４月３０日
Ｎｏ．２
天龍小学校

学校生活がスタートしました

４月６日に入学式を終え、７日から早速学校生活が始まりました。学校生活の要といったら…そう、給食です。今は、初めての１年生、２年生、３～６年生と、３カ所に分かれて準備をしていますが、もう少ししたら１年生と２年生は同じ場所で準備を行うことになっています。初めて３階まで運ぶことになった３年生は重そうですが、全員がそれぞれの仕事を分担し、配る人、運ぶ人、片付ける人…となって素早く準備を進めています。１週間が過ぎた１２日、もう散ってしまった桜の木の下で全校お花見給食を行いました。少し風がありましたが、ぽかぽか陽気の中、全校児童と先生方で楽しいひとときを過ごしました。外だったせいか、それとも違うお友だちが周りにいたせいか、いつもより早く食べ終わる人、たくさん食べる人、「あれ、それ食べて大丈夫…？」と苦手な食べ物を口にする人…、普段は見られない姿も見ることができました。

春の風物詩 ～ブッポウソウの巣箱かけ～

雨天で延期になったブッポウソウの巣箱かけが４月１６日（金）に行われました。前日までの予報とは裏腹に、はじめの会が終わった頃からまさかの雨…。でも、そんな状況も何のその。３年生から６年生までの子どもたちは２つの班に分かれ、３月までに作っておいた巣箱を一つずつ縛りつけていきました。団長の佳穂さんが「ブッポウソウが子育てをしやすい村に」と言っていましたが、初めて参加する３年生も「今年も来てくれるかな～」「自分の作った巣箱にブッポウソウが住んでくれたらいいな～」と、誰もがとても楽しみにしている様子でした。作業中は、慣れている６年生が４年生に縛り方を教えたり、縛っている間箱を支えたりして、協力し合っている姿がたくさん見られました。また、作業の終了が遅くなってしまった３年生は「来年はお兄さんお姉さんみたいに早く縛れるようになりたいな」と、次への目標を語っていました。上級生から下級生に脈々と受け継がれる貴重な活動です。育成会をはじめ、たくさんの地域の方々に見守られながら無事取り付けが終了しました。ご協力ありがとうございました。

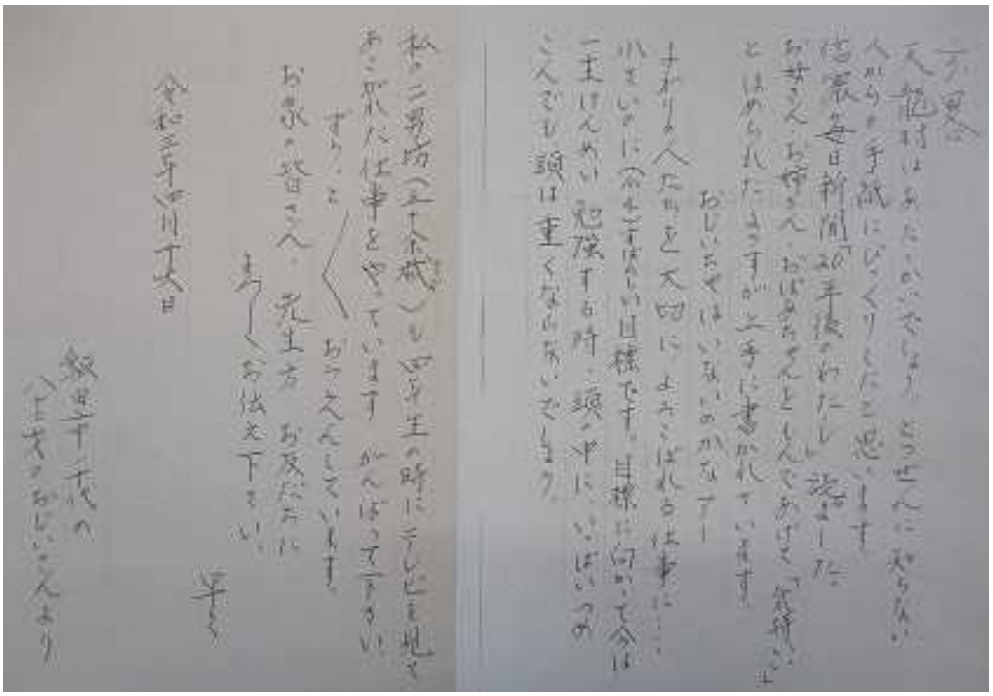
うれしいできごと
～お便りが届きました～

２０年後のわたし

天龍村天龍小４年　藤沢　陽菜乃

わたしがしょう来やりたい仕事は、マッサージ師です。一度お母さんのいたいところをもんであげたら「気もちいいなぁ～」と言われ、とてもうれしかったので、お姉ちゃんとおばあちゃんにもやったら、同じく「気もちいい」と言ってくれ自信がつき、マッサージ師になりたいと思いました。しょう来、ゆめをかなえて、つかれている人をほくしてあげられるマッサージ師になりたいです。

昨年度末に作文『２０年後のわたし』を信濃毎日新聞宛てに書き、その記事が、４月になって掲載され始めました。全員で７人載ったのですが、どの「２０年後のわたし」もバラエティーに富んでいて、楽しい作文でした。その中の一人、陽菜乃さんの記事を読んだ飯田市の方から、なんとお便りが届きました。小さい記事ですが、読んでくださっている方がいる、それを読み応援してくださる方がいると思うと、とても温かい気持ちになります。地元の子どもたちを気にかけてくださっている方が地域にはたくさんいらっしゃいます。学校の活動にも、もう既にたくさんの支援をいただいています。キノコの菌床を届けてくださったり、畑の草を刈ってくださったりしています。そのような方々に感謝しつつ、充実した活動を行っていきましょう。



よりよい学校生活のために…

先日全校集会を行い、よりよい学校生活を送るために全員で、体育館の使い方について話し合いました。また、先週児童総会も行われ、１年間の児童会活動が決まりました。「いい学校生活を作るには誰の力が必要か」とみんなに聞いてみました。低学年の子どもたちには少し難しいかな…と思いましたが、全員が先生ではなく自分たちでよくするのだと分かっていました。自分たちの生活を自分たちで工夫しよくしていこうと考えている、素晴らしい子どもたちです。先生方も、遊んでいる様子を見たりきまりを見直したり、みんなが気持ちよく生活するためにはどうすればよいかを話し合っています。必要な指導は必要なときに確実に行っていきますが、子どもたちの自主性や創造性を伸ばすためにも、自分たちで考えられることは自分たちで工夫していき、よりよい学校生活を創りあげてほしいと思います。お気づきの点がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いいたします。